

- 愛別町では、水田転作品目として牧草、麦、大豆が多く作付けされてきたが、ほ場の排水性の悪さなど問題も多く生産性が低かった。このため、平成15年より、水稻農家の持つ既存の栽培技術、機械施設を有効に活用できる稲WCSの栽培が始まり、平成17年から収穫機械一式を導入して本格栽培が始まった。
- 愛別町稲発酵粗飼料生産部会では、資材調達、収穫作業の調整・委託斡旋を担当し、収穫・出荷作業は合同会社Aの一(えの一)が実施。価格については、1ロール(350kg・標準品質)約4,000円に設定。供給先は近隣の畜産農家のみであったが、現在は帯広市、足寄町等の畜産農家(5戸)に供給。運搬作業は供給先が対応。
- 混合生菌剤(BIO-PKC)の使用による品質向上実証試験を実施し、良好な発酵品質であることを確認。

生産の取組

【合同会社 Aの一(えの一)】

○取組面積

・15.3ha(平成23年) → 42.9ha(令和2年)

○生産体系

- ・湛水直播栽培により作業の省力化、低コスト化を図った。移植栽培と比べて収量はやや劣るが、施肥改善により、取り組み当初と比べ収量は向上。
- ・品質向上対策として、当初より乳酸菌を添加。25年度に混合生菌剤(BIO-PKC)の実証試験を実施し、発酵品質が良好であることを確認。
- ・ラップフィルムを8層巻きにし、収穫機を細断混合型に転換することにより、高密度・高气密なラップロールを形成。



愛別町



稲WCS
の供給



購入代金
約4,000円
/ロール
(重量350kg
/ロール)

家畜への給与

【A法人】

- 畜種、頭数:肉用牛乳用種・育成(5~7月齢):250頭
- 給与期間:5~11月、年間利用量:約100t、給与形態:配合飼料
- 給与量:2.0(kg/日/頭)、割合:約5%

【B法人】

- 畜種、頭数:肉用牛乳用種(育成・肥育) 450頭
- 給与期間:365日、年間利用量:約260t、給与形態:配合飼料
- 給与量:1.6(kg/日/頭)、割合:約5%

【稲WCS給与の効果等】

嗜好性が高く品質の良い稲WCSの給与により配合飼料を節減できれば、給与効果は大きく飼料の自給率向上につながる。

